

グローバルETFオープン

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2020年7月21日～2021年1月20日

第 72 期 決算日：2020年9月23日

第 73 期 決算日：2020年11月20日

第 74 期 決算日：2021年1月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界各国の上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とし、ETFを通じて、世界各国の株式・債券・コモディティ等へ実質的に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。また、為替変動リスクを回避するため、原則として実質的な外貨建資産の50%程度について為替ヘッジを行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第74期末（2021年1月20日）

基準価額 12,029円

純資産総額 1,063百万円

第72期～第74期

騰落率 +7.2%

分配金合計^(*) 60円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第72期～第74期：2020年7月21日～2021年1月20日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第72期首	11,283円
第74期末	12,029円
既払分配金	60円
騰落率	7.2%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因**上昇要因**

株式市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

2020年7月21日～2021年1月20日

1万口当たりの費用明細

項目	第72期～第74期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	51	0.443	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(27)	(0.230)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.194)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.019)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	6	0.047	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.041)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	57	0.491	

作成期中の平均基準価額は、11,588円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

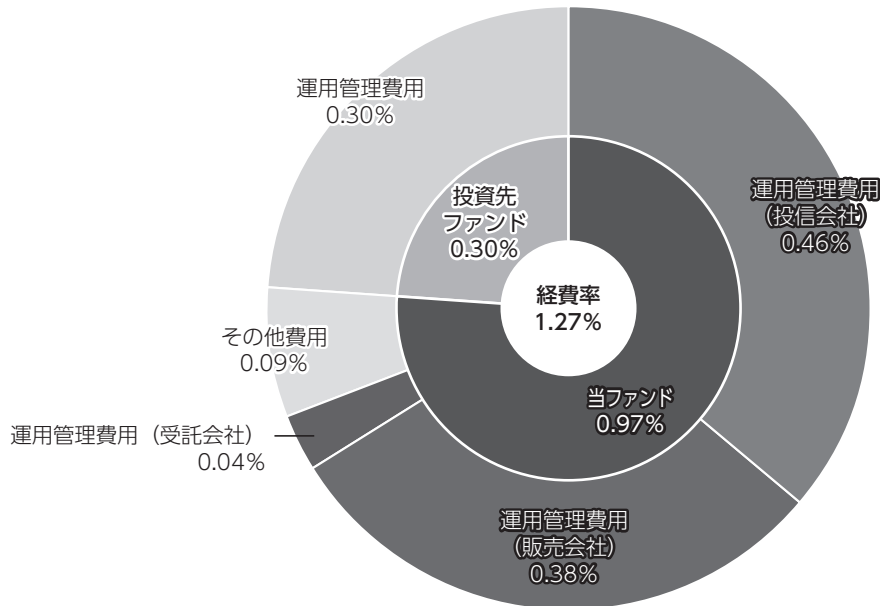
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.27%**です。



経費率 (①+②)	(%)	1.27
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.97
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.30

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

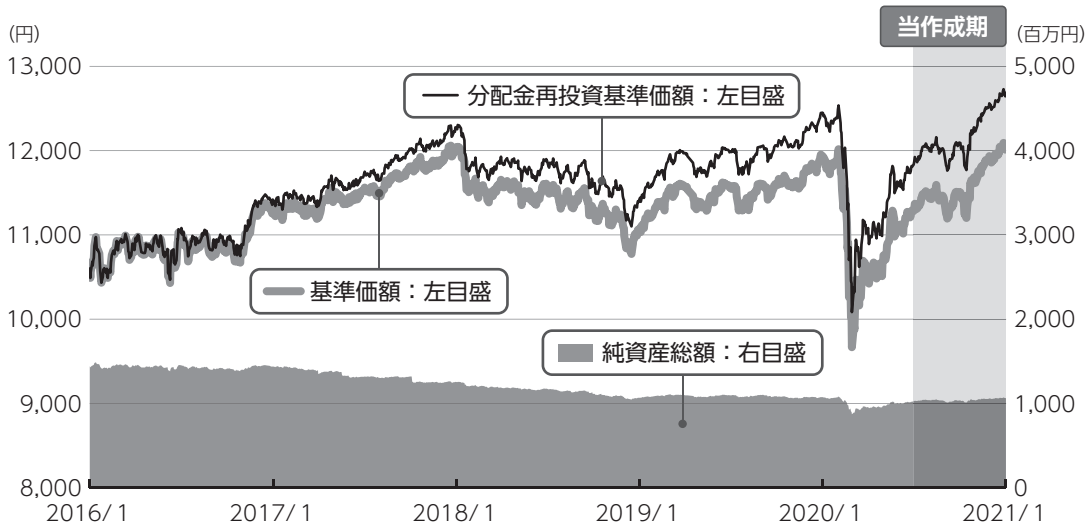
(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

2016年1月20日～2021年1月20日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2016年1月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2016/1/20 期初	2017/1/20 決算日	2018/1/22 決算日	2019/1/21 決算日	2020/1/20 決算日	2021/1/20 決算日
基準価額 (円)	10,599	11,279	11,996	11,078	11,937	12,029
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.6	7.5	-6.7	8.9	1.9
純資産総額 (百万円)	1,441	1,437	1,251	1,068	1,074	1,063

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第72期～第74期：2020年7月21日～2021年1月20日

投資環境について

▶ 先進国株式市況

先進国株式市況は、上昇しました。

米連邦準備制度理事会（FRB）、欧州中央銀行（ECB）における緩和姿勢の継続や追加緩和の決定、新型コロナウイルスワクチンの実用化による景気回復期待などを背景に上昇しました。

▶ 新興国株式市況

新興国株式市況は、上昇しました。

先進国株式市況の上昇などを受け、上昇しました。

▶ 先進国国債市況

先進国国債利回りは、ほぼ横ばいとなりました。

新型コロナウイルス感染再拡大への懸念や、主要中央銀行のハト派的な姿勢などから債券の安全資産としての需要が高まったことを背景に低下した局面があった一方、大規模な財政政策にともなう国債の需給悪化懸念や、新型コロナウイルスのワクチン開発に対する進展期待などを背景に景気回復期待が高まったことから上昇した局面もあり、当作成期を通してはほぼ横ばいとなりました。

▶ 新興国国債市況

新興国債券利回りは、低下しました。

スプレッド（米国債との利回り格差）の縮小などを背景に低下しました。

▶ 先進国不動産投資信託（リート）市況

先進国リート市況は、上昇しました。

新型コロナウイルスワクチンの実用化や、米国の追加景気対策の合意などを背景に上昇しました。

▶ コモディティ（商品）市況

コモディティ市況は、上昇しました。

原油価格が上昇したことなどを受け、上昇しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で下落、ユーロは対円で上昇しました。

米ドルは、米中関係の悪化に対する懸念や、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念などから円に対して下落しました。ユーロは、新型コロナウイルスのワクチン開発に対する進展期待などを背景に景気回復期待が高まったことや、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから円に対して上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

世界各国の上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とし、ETFを通じて、世界各国の株式・債券・コモディティ等へ実質的に分散投資を行い、ETFの組入比率は、高位を保ちました。

ETFへの投資にあたっては、ブラックロック・インクが設定・運用するiシェアーズ®に投資しました。

「新興国株式、インカム、先進国株式・国債、インフレ対応」の4つの資産区分を選定し、基本資産配分は、「新興国株式10%、インカム20%、先進国株式・国債30%、インフレ

対応40%」程度とし、おおむね基本資産配分に則した運用を行いました。

配分比率は、組み入れているETFの各ベンチマークのリスク・リターン特性や相関等を考慮し決定しました。

為替変動リスクを軽減するため、実質的な外貨建資産の50%程度について為替ヘッジを行いました。当作成期を通じて同程度の比率を維持したことにより、為替相場の変動の影響は半分程度となりました。

運用指図に関する権限をブラックロック・ジャパン株式会社に委託しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第72期 2020年7月21日～ 2020年9月23日	第73期 2020年9月24日～ 2020年11月20日	第74期 2020年11月21日～ 2021年1月20日
当期分配金（対基準価額比率）	20 (0.177%)	20 (0.172%)	20 (0.166%)
当期の収益	－	13	20
当期の収益以外	20	6	－
翌期繰越分配対象額	2,177	2,171	2,238

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

世界各国の上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とし、ETFを通じて、世界各国の株式・債券・コモディティ等へ実質的に分散投資を行い、ETFの組入比率は、高位を保つ方針です。

ETFへの投資にあたっては、ブラックロック・インクが設定・運用するiシェアーズ®に投資し、指定投資信託証券の適時見直しを行い、新たな指定および除外を行う場合があります。

「新興国株式、インカム、先進国株式・国債、インフレ対応」の4つの資産区分を選定し、

基本資産配分は、引き続き「新興国株式10%、インカム20%、先進国株式・国債30%、インフレ対応40%」程度とする方針です。

配分比率は、組入れているETFの各ベンチマークのリスク・リターン特性や相関等を考慮し決定します。

為替変動リスクを軽減するため、原則として、実質的な外貨建資産の50%程度について為替ヘッジを行う方針です。

運用指図に関する権限をブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

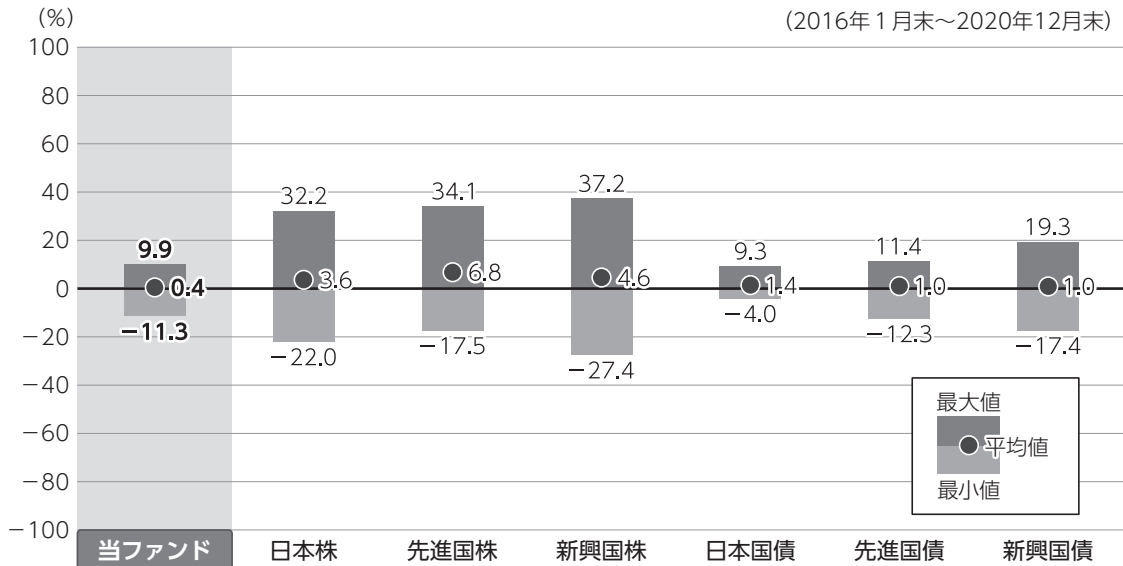
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2008年9月12日設定）
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国の上場投資信託証券（ETF）
運用方法	世界各国の上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。 ETFを通じて、世界各国の株式・債券・コモディティ等へ実質的に分散投資を行います。 為替変動リスクを回避するため、原則として、実質的な外貨建資産の50%程度について為替ヘッジを行います。 運用指図に関する権限をブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。 ※ただし、円建短期金融資産の運用を除きます。
分配方針	毎年1、3、5、7、9、11月の20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）毎年1月および7月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年1月から2020年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversifaid

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2021年1月20日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：26銘柄)

ファンド名	第74期末 2021年1月20日
iシェアーズ ユーロ建て物価連動国債 UCITS ETF (ユーロクラス 無分配型)	10.7%
iシェアーズ 英ポンド建てインデックス・リンク・ギルト債 UCITS ETF	10.2%
iシェアーズ 米国物価連動国債 ETF	8.8%
iシェアーズ ディバーシファイド・コモディティ・スワップ UCITS ETF (DE)	8.2%
iシェアーズ MSCI EAFE ETF	7.9%
iシェアーズ MSCI 北米 UCITS ETF (米ドルクラス)	7.9%
iシェアーズ ユーロ国債 7-10年 UCITS ETF	3.2%
iシェアーズ ユーロ建て社債 (大型) UCITS ETF (ユーロクラス)	3.0%
iシェアーズ ユーロ国債 1-3年 UCITS ETF	3.0%
iシェアーズ ユーロ国債 3-5年 UCITS ETF	3.0%
iシェアーズ グローバル公益事業 ETF	3.0%
iシェアーズ・コア 英ポンド建て社債 UCITS ETF	2.8%
iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF	2.8%
iシェアーズ ブロード米ドル建て投資適格社債 ETF	2.7%
iシェアーズ グローバル・インフラ ETF	2.4%
iシェアーズ ディベロップト・マーケット・プロパティ・イールド UCITS ETF	2.1%
iシェアーズ MSCI インディア・インデックス ETF	1.9%
iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF	1.8%
iシェアーズ・コア 英国ギルト債 UCITS ETF	1.6%
iシェアーズ 米回国債 7-10年 ETF	1.6%
iシェアーズ 米回国債 3-7年 ETF	1.6%
iシェアーズ MSCI 東欧キャプト UCITS ETF (米ドルクラス)	1.5%
iシェアーズ 米回国債 1-3年 ETF	1.5%
iシェアーズ MSCI メキシコETF	1.4%
iシェアーズ MSCI ブラジルETF	1.3%
iシェアーズ MSCI 南アフリカ ETF	1.1%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

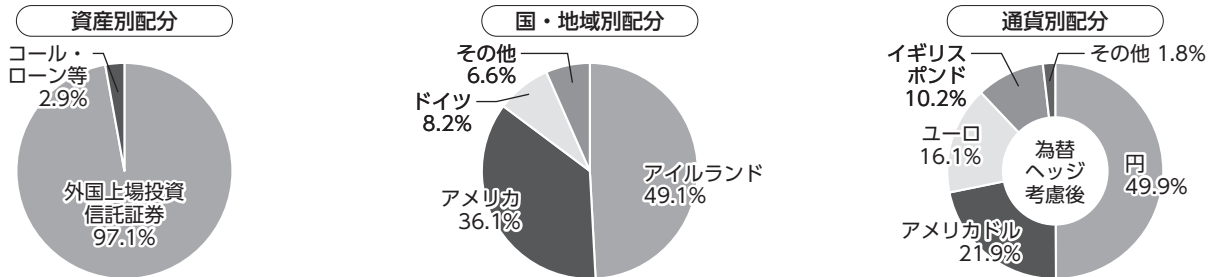
※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

純資産等

項目	第72期末 2020年9月23日	第73期末 2020年11月20日	第74期末 2021年1月20日
純資産総額 (円)	1,014,729,381	1,035,959,190	1,063,946,439
受益権口数 (口)	901,835,259	891,588,503	884,508,440
1万口当たり基準価額 (円)	11,252	11,619	12,029

※当作成期間中（第72期～第74期）において追加設定元本は19,638,160円
同解約元本は 42,834,105円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】は、組入ファンドの発行地を表示しています。

現地2020年2月29日現在

組入上位ファンドの概要

▶ iシェアーズ ユーロ建て物価連動国債 UCITS ETF (ユーロクラス 無分配型)

基準価額の推移

現地2019年2月28日～2020年2月29日



※上記には、分配金が含まれていません。

1万口当たりの費用明細

2019年3月1日～2020年2月29日

1万口当たりの費用明細について、データが入手できませんでしたので、表示を行っておりません。

※ブラックロックの開示情報を基に三菱UFJ国際投信が作成し掲載しています。

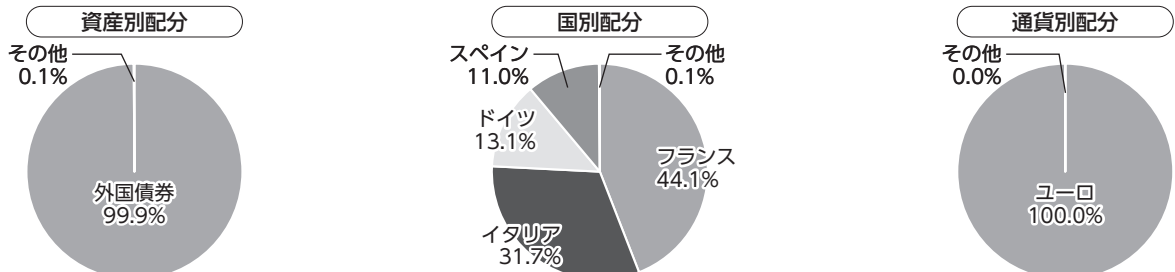
組入上位10銘柄

(組入銘柄数：36銘柄)

順位	銘柄	比率(%)
1	FRANCE (REPUBLIC OF) RegS	5.5
2	FRANCE (REPUBLIC OF) RegS	4.4
3	FRANCE (REPUBLIC OF) RegS	4.3
4	ITALY (REPUBLIC OF)	4.3
5	FRANCE (REPUBLIC OF)	4.3
6	FRANCE (REPUBLIC OF) RegS	4.0
7	ITALY (REPUBLIC OF)	3.8
8	FRANCE (REPUBLIC OF) RegS	3.8
9	ITALY (REPUBLIC OF)	3.7
10	GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) RegS	3.7

※比率は当投資信託証券のポートフォリオ評価額に対する割合です。

種別構成等



※比率は当投資信託証券のポートフォリオ評価額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、ブラックロックの開示情報を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

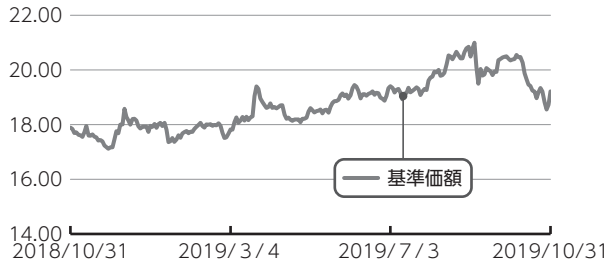
現地2019年10月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶iシェアーズ 英ポンド建てインデックス・リンク・ギルト債 UCITS ETF

基準価額の推移

現地2018年10月31日～2019年10月31日
(イギリスポンド)



※上記には、分配金が含まれていません。

1万口当たりの費用明細

2018年11月1日～2019年10月31日
1万口当たりの費用明細について、データが入手できませんでしたので、表示を行っておりません。

※ブラックロックの開示情報を基に三菱UFJ国際投信が作成し掲載しています。

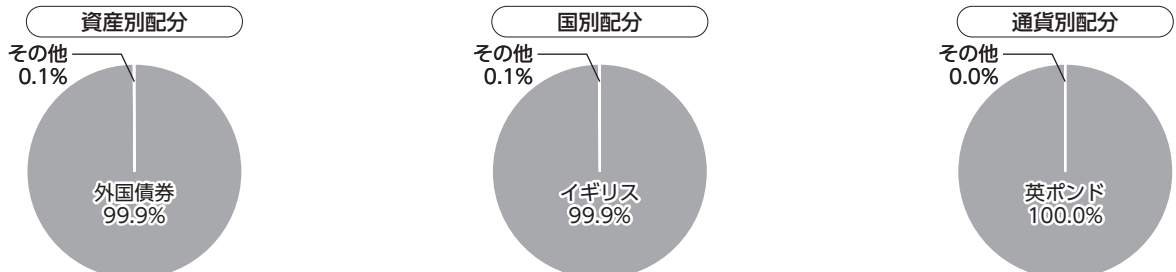
組入上位10銘柄

(組入銘柄数：29銘柄)

	銘柄	比率(%)
1	UK I/L GILT RegS	5.5
2	UK I/L GILT RegS	5.1
3	UK I/L GILT RegS	5.1
4	UK I/L GILT RegS	4.6
5	UK I/L GILT RegS	4.5
6	UK I/L GILT RegS	4.5
7	UK I/L GILT RegS	4.4
8	UK I/L GILT RegS	4.3
9	UK I/L GILT RegS	4.3
10	UK I/L GILT RegS	4.1

※比率は当投資信託証券のポートフォリオ評価額に対する割合です。

種別構成等



※比率は当投資信託証券のポートフォリオ評価額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、ブラックロックの開示情報を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

現地2019年10月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶iシェアーズ 米国物価連動国債 ETF

基準価額の推移

現地2018年10月31日～2019年10月31日



※上記には、分配金が含まれていません。

1万口当たりの費用明細

2018年11月1日～2019年10月31日

1万口当たりの費用明細について、データが入手できませんでしたので、表示を行っておりません。

※ブラックロックの開示情報を基に三菱UFJ国際投信が作成し掲載しています。

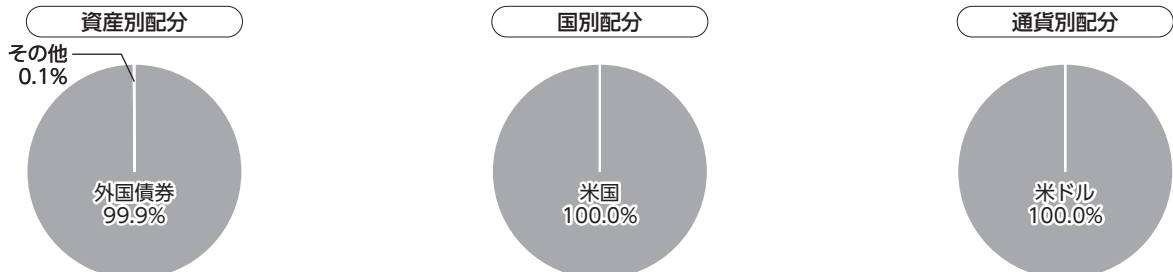
組入上位10銘柄

(組入銘柄数：41銘柄)

	銘柄	比率(%)
1	TREASURY (CPI) NOTE	9.0
2	TREASURY (CPI) NOTE	7.8
3	TREASURY (CPI) NOTE	5.7
4	TREASURY (CPI) NOTE	5.6
5	TREASURY (CPI) NOTE	4.9
6	TREASURY (CPI) NOTE	4.7
7	TREASURY (CPI) NOTES	4.4
8	TREASURY (CPI) NOTE	4.2
9	TREASURY (CPI) NOTE	4.1
10	TREASURY (CPI) NOTE	4.0

※比率は当投資信託証券のポートフォリオ評価額に対する割合です。

種別構成等



※比率は当投資信託証券のポートフォリオ評価額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、ブラックロックの開示情報を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

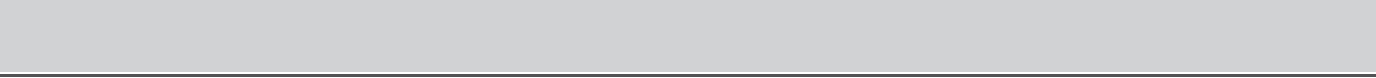
●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

iShares®（iシェアーズ®）およびBlackRock®（ブラックロック®）はブラックロック・インクおよびその子会社（以下、ブラックロック）の登録商標です。三菱UFJ国際投信はブラックロックよりこの商標を使用する許諾を得ています。

ブラックロックは、グローバルETFオープンについて出資、発行、保証、販売および販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、ブラックロック・ジャパン株式会社が当ファンドの運用の受託者として行う業務に関するものを除き、グローバルETFオープンへの投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、グローバルETFオープンに係る業務、営業、トレーディングおよび販売に関して、一切責任を負うものではありません。







三菱UFJ国際投信